

「比叡の水でビオトープをつくろう」計画

「どれくらいの大きさにしようか？」



登園するなり、計画を抱え園庭に出てきた5歳児。大きさや形について話始めました。A「これくらいの大きさがいいと思う」B「広すぎたら手届かへんし、細長くしよ」C「デカ(大きい)すぎたら、水消えていくで」D「水は抜けへんように石置いといたらいいねん」自分の思いを出し合ったあとで、スコップで掘り出す子どもと、石探しに行く子ども分かれしました。



「たくさん集めたら重たくなるし、荷物載せて押すやつ持っていこう」「小さい石はバケツでいいな」と、石集めに必要とされる道具も自分たちで考えていました。また、石がたくさんある場所といえば…と、これまでの経験から「いいとこ知ってる!あそこにあるはず!」と、園舎裏に向かいました。

プラススコップで一生懸命に掘った川に、石を並べていきました。「遠足の時にみた川みたいに、パズルで合わせていくねん」と、きれいに石を並べていました。さあ、明日、水は残っているのでしょうか…?